

症例検討会用 症例報告フォーマット(例)

該当する方に○	症例相談(40分)	簡易相談(10分)
診断名 (DSM-5-TR または ICD-10 の 診断名を記載。ICD-10 コードは 2 桁または 3 桁で記載)	(1) 主たる精神障害: 自閉スペクトラム症 (ICD コード: 84.0) (2) 従たる精神障害: 睡眠障害(F51.0) (3) 身体合併症:	
年齢 (主治医として関わり 始めた時点の年齢)	4歳	
性別	男	
主治医として治療した期間	2 年 6ヶ月	
初診時主訴、家族歴、 既往歴、生育・生活歴、 病前性格、現病歴 (症例に応じて必要な 項目について記載)	初診時主訴: 昼間の痙攣 眠れない(入眠困難) 家族歴: 父、母 既往歴: なし 生活・成育歴: 言葉遅れが 3 歳ごろまで顕著で、その後急に会話が可能となる。生後半年ごろより、昼間に全く眠らない、強い日差しをまぶしがって大泣き。昼間の痙攣、夜も抱いていないと眠らない状況が続く。保育園年中になってもお昼寝は全くできず、X 年8月に夜中 1 時ごろまで飛んだり跳ねたりして眠らない状況が続き来院。	
初診時から現在までの治療経過	自閉スペクトラム症、不眠障害と診断し 6 歳まではリスペリドンを処方、少し早く眠れるようになるも途中覚醒が続いた。6 歳になりメラトニンを 0.5g 処方して入眠、途中覚醒とともに劇的に改善したが、半年後よりまた入眠に時間がかかるようになった。	
今回相談したい点	メラトニンの増量をすぐにすべきか、するとしたら、いきなり1g にしてよいものなのか？	
患者同意のチェック(☑)	☒ 患者または代諾者に書面または口頭で発表に関する同意を得た	

1000 字前後を目安にご記入下さい